

平成27年度 十文字元気プロジェクト実施報告

No.	プロジェクト名称	代表者	構成員	担当教員	プロジェクト活動概要
1	フシギ現象で新座の町おこしプロジェクト	人間発達心理学科 13JC034 金井 咲季	9名	人間発達心理学科 東畑 開人	新座市での調査をもとに、下記の「新座市ふしぎMAP」を作成した。学園祭で出展した「妖怪ルーム」では、妖怪射的や妖怪博士号などをつくり、地域の子供たちに妖怪を楽しんでもらった。これを通して、「新座市と妖怪」という新しい視点を地域の人々に提供することができたと考えられる。また、私たち学生主体で、社会と接点のあるプロジェクトを遂行したことは、今後の就職活動や、就職後のスキルとして大きな意義を持つ経験になったと考えられる。
2	沖縄の伝統と文化、歴史に根ざした学校づくり運動に関する調査・実践プロジェクト	児童教育学科 13JB037 寺山 江美	6名	人間福祉学科 久保田 葉子	教員として必要なる資質や能力の基盤に「表現力」があり、継続して表現活動に取り組んできた。表現活動に取り組んでいる沖縄市立泡瀬小学校・幼稚園から、当該学校の児童や幼児に対して、本学で学んだ成果を発表して欲しいとの依頼があり、沖縄の伝統と文化、歴史に根ざした学校づくり運動に関する調査等を行った上で、表現活動作品の発表を行った。表現活動とはどのようなものなのかを、今回の活動を通して子ども達に伝えることができたと感じた。発表を見て、表現活動に興味を持ったり、関心が高まったりした子どもが多く見られた。子ども達にとって、表現活動が身近に感じられるように、今後も活動を続けていきたい。
3	伝統文化継承プロジェクト	児童教育学科 13JB040 仲 綾乃	4名	児童教育学科 狩野 浩二	「伝統文化継承プロジェクト」は、私たちが社会貢献の対象地域として検討している埼玉県小川町腰越地区腰上において、伝統的に伝わるものを活用した地域活性化のための文化継承を目的とする活動を指す。この地域を訪ね、地域の方たちの思いを聞き、私たちの提案が地域の人たちが望むことと同じであると感じた。今回の活動を通して感じたことは、地域の人とプロジェクトを遂行し、伝統文化を発掘、継承し、地域に還元すること、私たち自身が腰上の各種行事に参加したり、協力したりして、地域の人々と触れ合うことが大事であり、地域の人々が気付いていない価値あるものを見つけ、その中でその魅力を多くの人たちに発信し、今後も地域の役に立てるよう活動していきたい。
4	小川七タユネスコプロジェクト	メディアコミュニケーション学科 13JG035 高橋 穂香	20名	文芸文化学科 松永 修一	今回で4回目になる小川七タまつりのお手伝いですが、今年は初めてよさこいにも参加させていただいた。温かく迎え入れてくれた小川町の人々と一緒に小川町の伝統文化を踊ることで、日本の伝統文化の伝承のアピールになるとともに、自分たちも埼玉の文化に対する誇りを感じるきっかけになったと感じている。まつりの来場者とコミュニケーションをとることで、小川七タまつりに参加する意味を感じ、埼玉の伝統に触れながら楽しくプロジェクトを遂行できた。小川町の紙すきの和紙技術がユネスコの世界遺産として正式登録され、自分たちも伝統文化の理解を深め、様々な形で情報発信のお手伝いをする中で、地域活性化への一歩につながると、このプロジェクトを通じ学ぶことができた。
5	階段ファイターズ	人間発達心理学科 14JC100 三浦 葉子	4名	人間発達心理学科 平田 智秋	近年、体型意識が高まり、今後も肥満や痩せに対する意識は高まると予想される。女性の間ではダイエットや美への意識も高く「痩せる」という言葉は女子大生の会話の中では1日に1階は必ず聞かれる。本プロジェクトでは、安全かつ安価で手軽にエクササイズを提供すべく階段に注目した。具体的には、学内の階段にそれぞれ名言が違う世界に一つだけのポスターを掲示するなどし、階段を上る楽しみの一つになった。また、万歩計を配布し、その数値や、アプリによって一日の歩数や登った階数を目で見ることによって無意識にエレベーターよりも階段を使うようになった。、階段で行こうと友人を誘っている姿が見受けられ、仲間同士で競争心が芽生えたり、刺激を与えあうことができた。
6	日本の大自然と世界遺産を広めよう	児童教育学科 13JB037 寺山 江美	4名	児童教育学科 増田 吉史	本プロジェクトは、世界最大級の原生的なブナ林が残る白神山地を訪れ、取材を通して体験し、それらを絵本という形に残し、将来を担う子どもたちに読み聞かせ、届けることで、世界に誇る日本の世界遺産、大自然を未来へと繋げることを目的とした。現地では、様々な視点で白神山地を見ることができた。自分たちの目や肌で感じたものを大事にし、絵本で表現するにはどのようにするのかをじっくりと考えることができた。絵本づくりでは読んだ人のイメージによってその人の物語が膨らんでほしいという願いを込めて制作した。絵本の読み聞かせでは、真剣に聞いてもらうことができ、内容も子供にとって良いものだと感じた。